



愛と復興

議会だより

只見

12月会議	2
11月会議	5
委員会レポート	6
研修レポート	7
議会報告会	8
教えて! 議会のこと vol.2	10
一般質問 (10人の議員が登壇)	11
陳情請願 追跡レポート	22
若者たちの目線 vol.2	24

発行：福島県南会津郡只見町議会
 編集：只見町議会広報特別委員会
 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
 TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222
 E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

平成26年ふるさと只見の集い



東京で開催された「ふるさと只見の集い」。懇親会では、今年入会された方々が紹介されました。(11月30日)

胃カメラ診断装置1000万円追加補正

12月会議は15日から19日までの5日間の会期中で開催しました。

一般質問は2日間にわたり10人の議員が行政全般について質問、政策提言を行い、平成26年度一般会計、及び各特別会計補正予算は原案可決されました。ここでは、その内容の一部について要約してお伝えします。

朝日診療所

高度医療を備えた近隣の病院まで、約2時間かかる只見町。高齢化が年々進む地域の中

で、安心して生活するためにも朝日診療所の医師確保と医療の充実を図ることが必要不可欠です。

2年間休止されていた

た胃カメラによる診療が、今年4月より再開されます。現在、再開に向けての研修が、朝日診療所スタッフによって行われています。

条例改正

奨学金制度

より利用しやすくなりました

免許取得後5年間は
町外で経験が積めるように

町は現在、「保健師・助産師・看護師」の養成施設で学ぶ学生のために奨学金を支給しています。ただしこれまで、当該免許取得後「直ちに」町内の機関に就職しなければ返済義務があるものとなっ

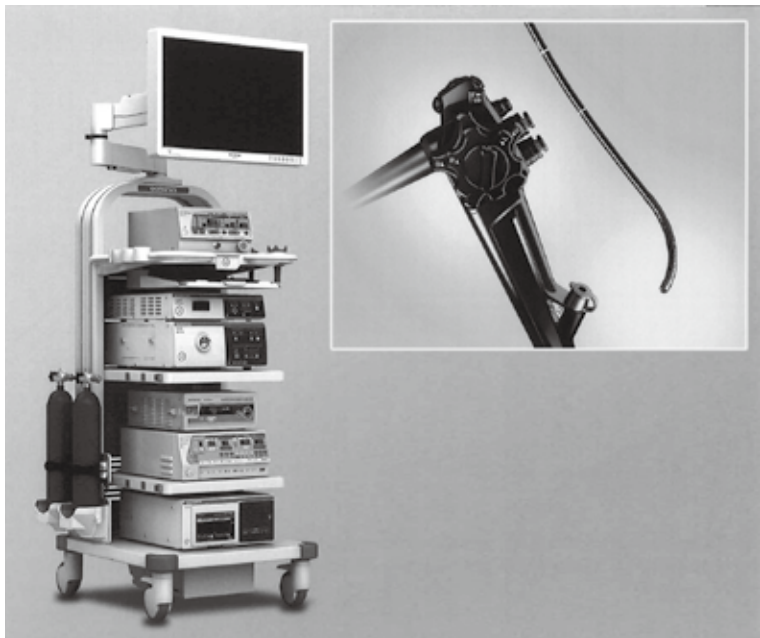
ていました。

もろえる体制となり、

今回これを、免許取得後「5年以内」に町外で経験が積めるように、条例改正をしました。これにより、免許取得後に町外で十分経験を積んでから町に帰ってきて

性のある利用しやすい奨学金制度となりました。より経験のある人材が増え、医療機関を利用される方にとっても安心です。

性のある利用しやすい奨学金制度となりました。より経験のある人材が増え、医療機関を利用される方にとっても安心です。



4月から導入予定の胃カメラ診断装置

12月会議

朝日診療所の

一般会計予算

12月補正額…… 6億9,933万円
補正後の予算総額… 57億1,643万円

条例改正

第三セクター

経営検討委員の
擁立へ

町では、今年新しい行政改革の指針を定め、現在の「湯ら里」や「会津ただみ振興公社」の第三セクター会社の経営検討を進めることとしています。12月会

議にその経営検討委員の月額報酬を定める条例改正案が提案され、議決されました。検討メンバーは、会計専門家などで構成される予定です。



歳時記会館で開かれる地元野菜の産地直売所

土地利用計画承認

法律で、町の土地利用の在り方・計画をつくらることが義務づけられています。この度、第二次「国土利用計画 只見町計画」が策定され、議会はそれを承認

しました。
農地、森林、原野、道路、住宅地などの活用基本方針などが定められ、今後この方針に沿って事業が進められます。

管理体制をしつかり！

只見総合開発センター
解体工事費を追加！

請負費 570万円増

開発センターの設計 図面紛失により、地下のコンクリート製埋設物のトン数が把握でき

なかったために、産業廃棄物として1060トンのコンクリートが追加処理されました。



掘り出された只見総合開発センターの埋設物

12月会議 質疑応答

南郷トマト選果場



南会津町宮床にある南郷トマト選果場



自然環境にすぐれた温谷沢

問

南郷地区にあるトマト選果場の機器更新と機能強化を行う補助金について、全体事業費の財源内訳及び三町の持分はどうなっているのか？

答

全体事業費の2分の1が国、三町（南会津町・下郷町・只見町）とJA会津みなみが4分の1ずつである。

問

ある。なお、三町の負担額は、面積割・戸数割・均等割にて算出され、南会津町が380万78千円、下郷町が303万1千円、只見町が1139万1千円である。

温谷沢復旧工事

問

黒谷・温谷沢は、地域の人が多く利用する場所である。一部個人で整備された

答

部分もあるが、あまり復旧が進んでいないようだ。森林セラピーの利用に適した場所でもある。早期復旧を望むが、見通しは？

教員住宅不足

問

町内の教員住宅が慢性的に不足している実態に、今後どう対処して行かれるのか？

答

現場を調査したうえで検討したい。

問

奥会津学習センターの今後の運営のあり方は？

答

民間事業者によって建設された民間賃貸住宅の一部を町が借り上げ、教員住宅として使用する計画である。

問

改築してから十数年が経過し、毎年の修繕費が多額にかかっている状態だが、できるだけ有効に使用していきたい。新設、建設の検討については、町民、議会の理解を深めて行きたい。

中学校職場体験

問

只見中学校で行われた職場体験は、従来会津若松で行われていたものを、今年度は町内で行ったとのこと。どのような教育効果を狙っているのか？

答

職場体験の目的として、地域を支える人材をどう育てるかがある。会津若松で行うことで職場の幅が広がることになるメリットはあるものの、町内で行うことにより地域の方々とのつながりが持て、地域を愛することにつながると考えた。



町内で行われた中学生の職場体験 (写真上、右とも)



問

こぶし苑の介護サービス減、今後の見通しは？

答

通所リハビリテーションについては、今後も利用者の希望に応じて受付していきたい。入所についても、施設定数制限(50人)のなかで対応していきたい。



③ 只見の伝統文化は最高！ 10月4日、季の郷湯らにおいて全会津芸術文化振興大会が盛大に開催されました。地元只見町の文化活動の現状を知るため、県指定重要文化財である梁取神楽や天領只見仙獄太鼓の演奏などが披露されました。後世に引き継ぐ必要性を十分に感じる大会となりました。

11月会議

一般会計補正予算

約**3,500**万円

特別会計補正予算

約**2,200**万円



街灯に群がるマイマイガ（昨年夏）

11月19日に開催された11月会議の主な議題は、マイマイガ対策のための町内街路灯のLED化予算についてでした。その他、環境整備関連予算が議決されました。

自然に優しい まちづくり

街路灯などをLED電球に 予算約4,400万円

マイマイガ対策・電気料の軽減対策として、各集落、公共施設等の街路灯などを全町的にLED電球に交換します。

また、県や国、民間事業者の街灯などについても、今後対応して頂く事も合わせて協議しました。

暮らしやすい まちづくり

宮淵・叶津地区の 簡易水道工事設計委託料 予算約630万円

雨が降ったりして水源に濁りが発生しても、水道に影響が出ないように処理施設を改善するための第一歩です。



環境に配慮した まちづくり

布沢地区にあった廃タイヤ処理 予算約12万円

布沢集落にある癒しの森につくられた駐車場付近にあった廃タイヤを片付けます。



廃タイヤの山

■総務厚生常任委員会

郡内の福祉施設4ホームを視察 待ったなしの「地域医療の充実」

少子高齢化の中で、只見町の高齢化率は43%を超え、県内では4番目の高さです。さらに

に今の人口減から推測すると、8年後には4千人を切る予想されます。



南会津郡内の福祉施設の視察

只見町は、高度医療を備えた近隣地までは約2時間の距離です。高齢化が年々進む地域の中で、安心して生活するためにも、朝日診療所の医師確保と医療の充実を図ることは必要不可欠です。当局議会双方でこのことを再認識しなければならぬと考えます。

さらに、郡内の特養ホーム施設への待機実数は430人強であり、さらに増加することが予想されます。高齢者福祉への今後の対応について、地域医療の充実と併せてその重要性を認識し、調査を継続することとします。

■経済文教常任委員会

担い手育成が急務 耕作放棄地



杉沢地区の耕作放棄地を視察する委員

現在町内の農地面積は、8222haあり、国道沿いの条件が良い場所でも放棄地化が進み、全体の約8%が耕作放棄地となっています。今後、放棄地化が進みます。放棄地化が進みます進むことも考えられ、優良農地の確保、担い手集団の育成などが当面の課題です。

今回、蒲生、杉沢、

大倉、布沢の4か所を現場視察し、蒲生地区においては耕作放棄地解消実例を見ましたが、課題も多く見られました。

国道沿いの景観保全対策が必要な場所があり、ユネスコエコパークの観点からも対策が急がれます。

耕作放棄地を 企業の社員教育に活用

平成26年10月16日、耕作放棄地と企業との橋渡しをしているNPO法人「えがおつなげて」に、現場での取り組み内容について現場農地で指導を受けてきました。

場所は、山梨県北杜市須玉町益富地区、人口495人、高齢化率63%の山村です。企業の社員教育の一環として、農家より借り上げた農地で社員が畑を耕したり、米を作ったり等の活動を通して交流事業を推進して成功をおさめています。当町でも今後耕作放棄地、空き家対策なども含めて、都市との交流による対策は有効と考えられます。



「えがおつなげて」のスタッフから説明を聞く

その他視察先

- ◆長野県山ノ内町 ユネスコエコパーク先進地での取り組み
- ◆長野県上田市、上田電鉄(株) 鉄道ローカル線継続の取り組み
- ◆栃木県茂木町「道の駅もてぎ」地元産物にこだわった販売戦略

役場 庁舎

失敗のない建設を！

平成26年11月6日、群馬県榛東村へ平成21年度に建設された斬新的な役場庁舎の視察に行ってきました。

新築にあたり「村民のもうひとつの家」、「将来の変化に対応できる機能」、「地域の環境に配慮した計画」の3つの基本コンセプト

をもとに設計され、デザインも養蚕農家をイメージしたものでした。新庁舎は高価な買い物であり、今後数十年

にわたり使用する施設なので、当町としても納得のいくまで議論をし、失敗のない建設を進めていきたい。



上田電鉄別所線のラッピング車両



榛東村役場前で

町民のなまの声を届けます！

9月会議後に開催した今回の議会報告会は、議員と町民との意見交換の時間をより確保すべく、新しい形での取り組みを試みました。ここでは、今回上がってきた意見や質問の概略を掲載します。

共通テーマ

JRR只見線

●奥会津地域としての活用策・地域活性化計画を示すべき。

●将来の展望を明確に示さないと、JRRは腰を上げない。

●黒字化へのJRRの企業努力も足りないのでは。

●生活路線として乗客数を増やすには、本数の増便・所要時間・新幹線停車駅との直通便の検討が必要であり、JRRに働きかけるべき。落橋してしまった箇

所を復旧させずに、その区間だけ同じ乗り物のまま鉄道からバスに切り替えて運行する「Multiple-purpose Vehicle (MPV:マルチ・パーパス・ビークル)」の導入を検討してみてもは。

●乗客数を増やすには、そもそも只見駅に至る町内を定期的に循環する公共交通がないのが問題。

●南三陸鉄道の取り組みを参考に。最後は熱意・ビジョン・感動を共有しなければ。

●振興センターを拠点に住民参加でやるべき。住民の盛り上がり不足

りない。町民集会・住民大会を開催し、沿線住民の声を届けるべき。

●町長がもっとリーダーシップを発揮して、町民を盛り上げるような機会を設けるべき。

●JRR代行バスの方が正直便利のため、全線再開通となった場合に継続運行されるのが気になる。

●電源開発に第8橋梁の復旧費の負担を求めらるべき。

朝日診療所の運営

●外来の診療報酬が減少したのは、人口の減少、または町民の健康度が上がったからではないのか。

●セカンドオピニオン*1を受ける機会は必要だ。

●中途半端な施設なので、どうせならと最初

*1：セカンドオピニオン
違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めること。



10/29 只見振興センター

10/30 朝日振興センター



10/31 明和振興センター

議会報告会

町民と議会



10/29 檜戸集会施設



10/30 布沢集会施設



10/31 蒲生集会施設

振興センター での声

- 小さい子供たちの将来を見据えた町のビジョンを。
- 林道復旧工事の進捗状況は。
- 空き家対策の活用状況は。
- 少子高齢化対策の充実を。
- 民具収蔵庫・只見振興センター・学習センターの建設見直しは。
- 黒谷の通学路にある

から別の病院に行ってしまう。

- 初期診療施設として不可欠であり、非常に重要な施設。より一層充実した体制で運営してもらいたい。
- 内視鏡検査は非常に重要だと思うので、早急に再開してもらいたい。
- 運営に当たっては、事務長にもっと発言力のある体制にすべき。

集落での声

- 空き家が冬期間危険なうえ、道路改良の妨げになっている。今後の見直しは。
 - 採択された陳情の事業実施状況がわからない。聞きたくても、どこが窓口なのかがわからない。
- ① 檜戸集落
- 檜戸沢の林道災害箇所は全て復旧してもらえないのか。河川復旧工事なども原型復旧でいく度となく被災しているのだから、改良復旧での工事の進め方をしてもらいたい。
 - このままだと集落の維持管理ができなくなってしまう。町として農業政策にもっと支援すべきではないか。
- ② 布沢集落
- 耕作放棄地対策が必要。少子高齢化も深刻。いろいろもう限界に来

ていると感じる。もっと行政は地域に密着した町づくりをしてもらいたい。

- 松坂峠の道路改良について、通年通行できるように住民要望を高める運動をしていくべき。

蒲生集落

- 議会は住民の代表。代弁者であるから、定数削減はこれ以上やるべきではない。町民の声が届かなくなる。行政はもっと住民と話し、議論する機会を作るべき。
- 林道災害箇所が復旧が進んでいない所がある。ユネスコエコパークの今後の展開に必要だと思われ、早急に対処してもらいたい。
- 野生鳥獣の被害対策、とくに猿対策については、電気柵を個人負担のないようにはできないのか。また、駆除隊の強化をお願いしたい。



⑧ 割に合わない仕事!? 10月28日、郡山のビックパレットで町村議会研修会が開催されました。議員が割に合わない仕事になりつつあること、議員報酬が低すぎて若手のなり手が出にくい問題、通年議会や議会基本条例の制定等がもたらす影響などについて、興味深いお話を伺いました。



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.2



アカシヨウちゃん

議員の活動にかかるお金は どうなっているの?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナりん 只見町議会では、最近話題になった「政務活動費」*1なんてもらえるの?

石橋委員長 只見町議会は政務活動費は一切出ないのよ。

ブナりん え!? じゃあ、本代とか議会中のお弁当代も出ないの?

山岸委員 なにも出ないよ。全部自分で払うのよ。



アカシヨウちゃん 視察研修にはどのくらいお金がかかっているの?

小沼委員 視察研修の旅費として、2泊3日で1人当たり3万円程度の予算だよ。

アカシヨウちゃん 只見町議会は通年議会*2と

聞いているけど、いつも議会をやっているということ?

大塚委員 いつもやっているわけではないけれど、いつでも必要な時に議会が開けるようになっている仕組みだよ。緊急時でも直ぐに対応出来るようになっているんだ。平成25年度は140回くらい、議会や委員会を開催したよ。全国の議会のなかで、ここまで多く開催している議会は珍しいんだ。



イワっぺ ねえ! その140回のたびにお金がもらえるの?

目黒委員 そのたびには支払われないよ。毎月一定額の報酬*3が出るだけだよ。

※1 政務活動費

地方議会の議員が政策調査研究等の活動のために支給される費用。

※2 通年議会

閉会中の期間をなくし、議会が主導的・機動的に活動できる制度。チェック機能等、より充実強化を図るものであり、災害時の緊急対応や突発的な行政課題に議会が早急にできるようにするもの。

只見町では、平成23年6月定例議会から試行。

※3 議員報酬

隣接町村及び全国平均比較表は下記のとおり

町村名	議員報酬 (円)	会議開催延日数			人口
		本会議	全協、委員会等	合計	
南会津町	220,000	16	103	119	17,864
下郷町	211,000	12	37	49	6,461
檜枝岐村	203,000	16	7	23	636
柳津町	193,000	9	28	37	4,009
只見町	189,900	31	112	143	4,932
金山町	183,000	15	46	61	2,462
昭和村	165,000	12	31	43	1,500
三島町	166,000	13	17	30	1,926
全国平均	177,757	7.8	38.6	46.4	2,000～ 4,999人区分

※各町村データは、平成26年7月1日現在「町村議会実態調査集計表」参照

※全国平均は、平成23年7月1日現在「町村議会実態調査結果の概要」参照

12月会議一般質問

10人の議員が登壇



■ 大塚純一郎 12	■ 鈴木 征 17
エコパーク認定後の町の将来は	振興公社の改革が必要でないか
■ 目黒仁也 13	■ 山岸フミ子 18
「じねんと」運営の再検討を	学校給食を無料化にすべき
■ 新國秀一 14	■ 酒井右一 19
少子高齢化の新たな取り組みは	隣組支援保険制度の検討を 豪雨災害復興基金で福祉事業を
■ 小沼信孝 15	■ 石橋明日香 20
目的基金の今後の利用計画は	電源開発との電力融通協議の進捗は 今後の林業振興の全体像は
■ 藤田 力 16	■ 佐藤孝義 21
子育てしやすい町づくりを 「木の駅構想」順序が逆でないか	旧明和小跡地に住宅建設を

- 1議員1ページの割り当てとなっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。くわしい内容については、議会ホームページからUSTREAMの実況動画をご覧ください。ただし、現状は会議開催後1か月間のみ閲覧が可能です。

おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎 議員



ユネスコエコパーク認定後の町の将来は

町長—特性ある地域づくりを目指す

町長 交流人口を平成22年度の22万人から30万人に増やす施策をしたい。只見・朝日・明和の各地域特性を活かした拠点と生活環境等の整備を行う。只見地区は、中心市街地整備事業に全力で取り組む。朝日地区は、

問 ユネスコエコパークの登録認定は、地域づくりの出発点と捉え、少子・過疎・高齢化に歯止めがかからない只見町を元気にするための具体的な取り組み、施策を示せ。

10年、20年後の只見町の姿を機能集中化したコンパクトシティを目指せないものか？

議員のつぶやき



新産業創造の拠点となる「季の郷 湯ら里」

湯ら里のエリアを中心に、健康、スポーツ、レクリエーションの新たな産業を創造していく。

問 現在ある只見町の27集落は、今後10年後、20年後にはどのような姿になっているのか？ 集落の集約化、集団移転等は考えなく

明和地区は、歴史・文化を活かした交流推進を図っていく。これら地域特性を反映させるため、産業の六次化、地域総合商社化機能の獲得を、民間資本の参加、連携などの体制を構築していく。

問 只見高校は10年、15年後、今の状態で存続しているのか。今年の新入生は、町全

町長 特性ある地域づくりを目指し、観光交流を増やす政策、若者定住政策、農林業の振興政策、育成を図る展開とする。さまざまな政策展開に努め、可能な限り維持したい。

ていいの？



現在の奥会津学習センター

町長 政治的議論、判断のもとに、今後町立高校の考え方で、分校化・廃校化にならないよう存続させていきたい。

体で14人〜18人の見込みである。今後、どのような将来見通しの中で「奥会津学習センター」の新築設計画をされるのか。



⑪ ふくしま駅伝、只見町チームがんばれ！ 11月6日、ふくしま駅伝に出場する只見町チームの壮行会が朝日振興センターで行われました。高校生・中学生が主となったチームであり、山村留学生も目立ちました。最後は恒例の「力餅」を皆でおしくいただきました。皆が応援してますよ。力のかぎり頑張って！

「じねえんと」運営の再検討を

町長——指摘受け総合的に意見交換

問 現在、旧朝日診療所にある障がい者支援センター「じねえんと」の去年の利用実績は年平均1日8.6人、今年は現時点何人か。

保健福祉課長 先日確認した人が7.4人。

問 委託予算は、昨年1500万円で、うち町負担が約600万円、来年度は委託予

算1550万円で、930万円の町負担を計画されている。利用人数は毎年ほぼ同じだが年々委託料が上がる要因は。

保健福祉課長 人件費の増に よるものだ。

問 財政改革を示された以上、このよう なところに現場は疑問をもって切り込む姿勢

がないと到底新たな財源は生み出せない。南郷「木の葉」のような就労支援型に切り替えた場合の対比をしたことはあるか。

保健福祉課長 まず、財源は 給付費になる。

問 就労支援型に切り替えると全体で約4割予算が軽減できる。

なるべくお金のからない委託方法で財源を生み出していくべきだ。

議員のつぶやき

町負担も大きく減る。通う子供たちもわずかながら作業賃をもらいながら通うメリットもある。町の財政負担が大きく減ることは明白で運営委託を再検討すべきだ。

保健福祉課長 現在の「南陽会」に、就労支援型への切り替えを早い時期に要請したい。

問 南郷の「木の葉」を含めた就労支援型への再検討の理由は三つあると考えている。一つは、町の財政負担の軽減と通う子供たちのメリット。二つは、西部地区一帯の安定した障害者支援体制ができること。そして三つ目は、隣町のナカヤクリニクとの連携が可能となり、現在町が抱える医療体制に新たな可能性も生まれると考えている。町長はこのことをどう考えられるか。

町長 指摘をなるほど聞いた。もともと地元ボランティアの方々に支えられてきた経過があり、現在の体制に移行する

なかった。今までの経過を踏まえ、総合的な意見交換を行い、よりよくなるように考えていく。

時、南郷「木の葉」との連携で今後持続できる体制も望んだが至ら

*この他、役場組織体制について質問がありました。



障がい者支援センター「じねえんと」を視察する総務厚生常任委員会

新に国くに秀ひで一いち議員



少子高齢化の新たな 取り組みは

町長一充実した子育て支援をしたい

町の中どこに行っても子どもたちの遊ぶ声
が聞こえるようにしたい。
議員のつぶやき

問 町で今後予定している公共建築物についてのスケジュールは、全体的にどうなっているのか？

町長 方向性が定まったのは役場庁舎及び振興センターである。役場庁舎は来年度着工ができればと考えている。振興センターの方は基本設計実施計画がまとまっていく段階で、すみやかに着手したい。奥会津学習センターと民具の収蔵展示施設は、財源も含め

て実行に移していくかは今しばらく審議が必要だ。

問 来年度からの政策。少子高齢化対策についてはどのように考えているのか？

町長 現在実施している子宝祝金は第一子10万円、二子20万円、三子30万、福祉商品券給付、本年度より1万円を給付。現在実施している事業は継続し、妊産婦健診の無料化と併せ、新たに町外への健診にかかる交通費の助成を考えている。

問 新しい取り組みを検討していただきたい。町職員になると医療関係の奨学金免除がある。これに介護士を含めて民間にも適応させて、介護の将来を明るくする、その辺の検討をしていただきたい。

町長 民間の場合までは正直、念頭になかった。

問 町職員でなくても同じ医療、福祉の現場であるから不公平感なく人材確保すべきと思うが？

町長 提案いただいたことは、今後の課題として大きな問題だと感じた。考えさせていただく。

問 少子化対策にもなり、帰ってきている。



デイサービスを行う「桜の丘みらい」

町長 いいという人の住宅もあわせて必要である。介護士に対する奨学金免除規定については、前向きに考える。住宅政策については、必要というところで担当課に指示している。

*他に、復興基金や町民サービスに関する質問がありました。



⑬ 集落コミュニティを強化 11月10日、地方議会活性化シンポジウムが東京で開催されました。元地方制度調査会長の西尾勝氏による基調講演では、集落の協力で集会施設による集団介護などの対策が求められる。また、市町村の政策形成に果たすべき議会の役割は大きいと指摘されました。

目的基金の今後の利用計画は

町長——目的に沿い利用していく



小沼信孝 議員

問 数ある基金の中に何年も利用されていない、俗に休眠基金などと言われている基金の今後の利用運用計画をお聞きしたい。

町長 「只見ダム影響緩和対策事業基金」、「黒谷発電所地域振興対策基金」については平成27年度予算において2つの事業に利

用したいと考えている。

問 「うつくしい只見町の風景を守り育てる基金」というものがあるが、どのようなものに見えるのか？

環境整備課長 只見の自然環境、景観保全のために利用できる基金である。

問 この基金は、果実運用型で利子収入

総合政 策課長 この基金は当

一つは集落の地域振興

しか使えない。条例を改正しても使いやすくなりすぎではないのか？

総合政 策課長 条例を変えるのは県との協議も必要となるので今後検討していきたい。

問 「黒谷発電所地域振興対策基金」はどのような目的で利用できるのか？

農林振 興課長 ダム建設の影響を緩和するのが目的。十分今後検討していく。

豪雨災害復興基金 をすべて観光施設でなく、それぞれの基金があるのだから、そちらも利用して行くべきではないのか。

町長 豪雨災害復興基金は期限がある

利率が低い今、果実運用型の基金は条例を改正しても使いやすいように検討すべきだ。

議員のつぶやき

基金なのでそちらを優先的に利用しているつもりだが、その時の状況に応じて使っていくたい。

5年以上利用されていない特定目的基金の一部

基金の名称	25年度末基金残高	目的	利用状況
うつくしい只見町の風景を守り育てる基金	21,055,000円	景観づくり推進	H19年度山桜の郷事業
只見ダム影響緩和対策事業基金	3,776,000円	ダム建設の影響を緩和し地域振興を図るための地域対策	H21年度用水工事
黒谷発電所地域振興対策事業基金	42,941,000円	ダム建設の影響を緩和し地域振興を図るための地域対策	H19年度給水設備事業
ふるさと水と土保全基金	10,560,000円	農地や水路の保全のための集落共同活動の推進	H18年度中山間地測量事業
観光施設等整備基金	131,152,000円	観光施設等の整備	H15年度施設計画策定事業
文化・スポーツ振興基金	30,720,000円	文化・スポーツ活動の推進	H18年度文化財書籍印刷事業

14 金婚式、おめでとうございます 11月10日、「しあわせ金婚夫婦表彰式」はご存じのとおり、婚姻から50年目の言ってみれば「人生の節目」。現在の只見町があるのも皆様方のご功績があってこそです。これからも、夫婦仲良く健康で長生きしてくださいね。



藤田 力 議員



子育てしやすい町づくりを

町長一子ども・子育て会議を設置、検討

問 町の少子化対策について伺う。只見町でも年々子供の数が減り具体的な少子化対策が急がれている。今年の4月から11月までに生まれた子供は14人であった。この施策を遂行するには、子育てしやすい町づくりを目標に、緊急事態を宣言したり条例を制定し内外にアピールすることが大事だと思う。そして実行できる施策は思い切って予算をつける。町内に新生児用のミルクを販売している店もない。

只見町の少子化の緊急事態を町民の皆さまに知ってもらうためにも、思い切った施策が必要ではないか？

議員のつぶやき

少子化対策は保健福祉課で担当している。現在、只見町子ども・子育て会議を設置し協議している。今後も各種事業や助成を実施し子育て支援に努めたいと考えている。

町長 近隣町村では、保育料や学校の給食費まで無料化したところもある。只見でもそのくらいの取り組みを検討すべきと思うがどうか？

町長 他町村のことは聞いているが、

当町でも医療費・給食費低減化はされてきている。私はいずれも無料化にするという施策をベストだとは思っていない。

問 教育長に伺いたい。町内の3小学校全てが複式学級になるのは平成何年と推定されているか？

教育長 平成32年と推定している。

「木の駅構想」順序が逆でないか 町長——まずは湯ら里にボイラーを

問 昨年、検討会を開催していた木の駅構想が実施されず、湯ら里のバイオマスボイラーが予算化された。順序が逆と思うがその理由は何か？ 今のままでは、ボイラーが完成してもチップの入手が心配される。また、湯ら里のボイラー計画

は、場所や削減効果が検討不十分と思うがどうか？

町長 検討会でまとめられた木の駅構想の内容を検討した結果、まず木質バイオマスの需要先を整備すべきとの判断に至り、通年で大きな熱需要のある湯ら里に調査設計費

を予算化した。また、チップは、ボイラー整備と並行してチップ加工施設の整備をする方向で考えている。削減効果は、直接的な効果だけでなく、民有林を含めた森林資源の活用促進効果も狙っている。



只見保育所で開かれたお遊戯会の様子



15 元気に長生きしてください 11月10日、只見ホームにおいて、渡部マサエさんの百歳高齢者知事賀寿の贈呈式が行われました。今年になって4人目の百歳賀寿誕生です。おめでとうございます。

振興公社の改革が必要でないか

町長——抜本的改革を検討する

問 会津ただみ振興公社のあるべき姿について、町はどのように考え取り組んでおられるか。次の点について具体的に問う。

①振興公社の本来の核となる業務が手薄になっ
ているのではない
か？ ②新田沢から館
ノ川間の舗装化推進と
只見川右岸の環境整備

いこいの森・歳時記念館・河井継之助記念館・只見湖右岸（只見スキー場）の管理運営と福祉送迎運行業務を行っており、前年度よりも売上額及び入込者数は増となっている。第一点目については、これまで振興公社が果たしてきた役割を再確認し、将来のあるべき姿について検討して参りたいと考えている。二点目につ

町長 町の第三セクターである会津ただみ振興公社は、指定管理者として4つの観光施設（青少年旅行村

光施設）青少年旅行村

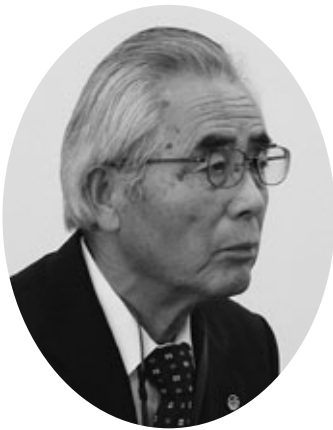
ては、降雨等の影響により路面洗掘があった場所について舗装化を行っており、それ以外の場所についても通行に支障を来さないよう整備していきたいと考えている。只見湖右岸の環境整備についても、景観の整備に努めながら、今後旅行村との一体的な活用が図られるような総合的整備の必要性を認識している。

三点目については、森林組合からの提案を一つとして受け止め、今後検討すべきものと考えている。

問 取締役4名で様々な事業を営む振興公社の現状を踏まえ、

改革を願うものである。改革の考えをお聞きたい。

町長 観光の玄関口として、重要な位置を占める歳時記念館については、来年度施設改修を実施することを明言する。また、当面の振興公社のあり方についても示しながら、改善するところはきちんと改善していく。



鈴木 征 議員

第三セクターの改革。社長は民間から採用し、会社一丸となって町の振興に努力すべきだ。

議員のつぶやき



会津ただみ振興公社の運営する青少年旅行村いこいの森（上）と歳時記念館（下）

16 町村のさらなる発展を目指して 11月12日に開催された「全国町村議会議長全国大会」では、町村が抱える課題や要望が提出され、東日本大震災からの復興及び大災害対策、道州制阻止と分権社会の実現、町村財政及び議会機能の強化などを決議し、一致団結して行動することが宣言されました。

やまぎし
山岸フミ子
議員



学校給食を無料化にすべき

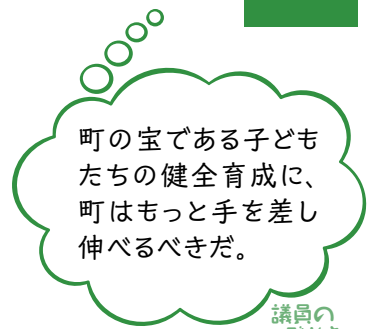
町長—無料化はベストではない

問

今年度からの一部給食費軽減は大変喜ばれている。無料化は、町の宝である子どもたちの健全育成・子育て支援の一助にもつながる。今年度の出生数は14名、将来の不安が大である。過大見積りの予算を見直し、確かな予算を組み他の施策に回すべき。小中学校の給食無料化とした場合の総額はいくらか？

町長

小中学校合計で2120万円となる。学校給食法の原則に基づき運営している。



町の宝である子どもたちの健全育成に、町はもっと手を差し伸べるべきだ。

議員のつぶやき

問

給食センターに納入している農家の方は、子どもたちの健全育成を願ひ、また自分の生きがいも含めて野菜作りに頑張っている。子育ての健全育成は、町民全体の責務である。

町長

議員の考えに同感である。

問

無料化をしている自治体では、保護者負担をなくすことで子育て環境の向上を図っており、子育て支援が意義深く価値あると位置づけられている。文部科学省の通達では、

教育長

当町では光熱水費を負担している。町長判断でできる通知文は確認している。

問

食育とは、食事のあり方・栄養の知識・地域の食文化などを伝えることである。食育は教育として位置づけられないか？

教育長

郷土愛や感謝の気持ちを含めた育むことが大事であり、食育は教育の一環と考える。

町長

町長判断でできることは承知している。

問

経済的・財政的状況の中で検討するとの答弁だが、多額の不用額を出す予算を精査すべき。法律的には



明和小学校の給食風景

町長

無料化に何の問題もなく他町村事例もあることから無料化すべき。財源の問題だけではない。教育の観点から負担の関係、社会の有様、感謝の気持ちも育てる必要がある。

問

きめ細やかな施策と良く言われるが、町の金は一時町民から預かったもの、貯め込

町長

無料化は必ずしもベストではない。

教育長

負担軽減は大変喜ばれている。今後もより良い給食に努めたい。



⑰ 早く完成するとイイネ！ 11月13日、待ちに待った小規模特別養護老人ホームの地鎮祭、起工式が長浜の只見ホーム隣の敷地で行われました。一日も早い開所が待たれます。

隣組支援保険制度の検討を

町長——共助・自助を高めたい

問 今年、町長は少子高齢化の課題を重点政策とした。具体的な実績や方向付けは？

町長 今年度より冬期間の生活支援対策としては、1世帯あたりの支援金額を増額したり、各種扶助費を充実させている。

問 10年後、只見町の人口は3840人、構成は老年人口が50・

7%、75歳以上の人口が43%と予測されている。これでは「介護支援施設」がいくらあっても足りない。そこで隣組支援保険制度(仮称)を提案する。集落の各

隣組に生活支援員を雇用し、日常生活を一部支援する仕組みだ。町内には約300の隣組がある。大規模な雇用が見込め、地域で子ど

も達への声かけや見守りもできる。財源が地域で回る。支援を受け、高齢者は長く自宅で生活できるようになる。民生施策が経済施策に変化するが、どうか？

町長 一人暮らしの高齢者が増えている状況であるので、集落等地域においては、高齢者の現状を把握しやすいことから、隣組や集落内での共助や見守り方も大切なことだ

と思う。



さか
い
ゆう
いち
議員

近い将来くる社会に備え、福祉サービス向上事業をやりたい。

議員のつぶやき

豪雨災害復興基金で福祉事業を

町長——主旨は理解した

問 現在、豪雨災害復興基金を使って、いくつか事業が計画されている。

●農業機械再取得経営
●緊急対策事業 ●重点作物対策事業 ●土地利用型農業対策事業 (大規模農家向けで、機械リースや借地小作料を支援)
●豪雨災害基金の使途・趣旨に馴染まないものもあるようだが、事業を



町内福祉施設での介護の様子

選択する時は広く民意をくんで欲しい。

そこで提案する。豪雨災害復興基金対象事業である「福祉サービス向上事業」を追加して欲しい。具体的には均等割世帯を含む低所得者向けとして

●福祉商品券を倍額
●暖房費支援 ●除雪支援事業にかかる一部負担金の軽減措置

町長 趣旨は分かった。福祉サービス向上事業を「豪雨災害基

金の使途に盛り込み」と言うものである。それは、それなりに検討する。

問 豪雨災害復興基金の要綱の期限が切れる。福島県に問い合わせたところ、事務的に手続きがされていないようだが、深刻に受け止めて頂きたい。

町長 私の場合は、問い合わせるのでなく、こうしたいからこうしてくださいということをやっています。

石橋明日香議員



電源開発との電力融通協議の進捗は町長一ほのめかしている程度だ

問 「発送電分離が実現された暁には、田子倉ダムでの水力発電による電力の一部を町内へ融通してもらえよう、電源開発と協議をしてはどうか」と以前質問したが、その後の勉強の成果や協議の進捗は？

町長 国は平成28年に家庭用向けを含めた電力小売りを完全自由化の予定で、消費者は契約する業者を選択できるようにする。発送電分離は平成30年以降だ。電源開発は

確かにエネルギー代の負担軽減が図られる仕組みづくりを今からしていくべきだ。

議員のつぶやき



ダムに沈んだ田子倉の歴史を大きく報じた、平成27年元日の朝日新聞福島版

「卸電気事業者」で、東京電力・東北電力等「一般電気事業者」に電気を供給するため、200万kWを超える出力の供給設備を有している。本町においては、国の電力システム改革の動きを見極めな

問 町内の林業振興は、今後の町のエネルギー政策だけでなく、町外へのお金の流出を防いで町内で循環させる仕組み作りには欠かさない。今後の林業振興

町長——集積加工施設等の整備を図る 今後の林業振興の全体像は

問 電源開発とは具体的にどこまで話を

がら、地域で作った電気が地域で利用できるよう関係機関に働きかけていく。

町長 これを実現するのに必要なのは外交手腕だけでお金が一切

しているのか？
まだほのめかしている程度だ。

町長 前向きに検討していく。

かからないのに、町にもたらす恩恵は非常に大きいものだ。ぜひ実現させてほしい。

全体のビジョン、詳細な青写真を問う。

町長 現状、町の豊かな森林資源が十分に活用されているとは言えない。町内での活用を中心に進めていきたい。木材利用では、素材利用の促進を図りながら、素材利用に適さないものの熱利用を図る方向で進める。まずは新築する只見振興センターと新庁舎への町産材の利用を行う。町産材を利用した民間住宅建設に対する補助も検討を進める。

プまたは薪に加工して町内での利用を図り、エネルギーの地産地消を促進していく。チップ加工施設として木材の集積加工施設の整備を、湯ら里への木質バイオマスボイラーと併せて行う。

山林からの搬出費用削減のため、町有林については作業道の整備を順次進め、木材供給を増やす体制を整える。民有林についても、木材集積加工施設で木材の買取りを行うことで整備を促進する。

旧明和小跡地に住宅建設を

町長——建設候補地として検討する

問 明和小学校旧体育館の解体はするの
か？

町長 体育館は、昭和41年に建築され、

現在は一部防災用品を保管している。建物の構造耐震指標であるIs値は0・112で、耐震性ランクはDランクである。これは、地震に対して倒壊または崩

壊する危険性が高いものである。そのため、他の用途に使用するには、大規模な耐震補強が必要となる。よって

今後、速やかに解体を進めていきたい。

問 実施計画書（27、28年度）には計上されていないが、いつ実施するのか。

町長 次の段階で考える。

問 住宅対策及び公共施設等での利用は考えているか？

町長 跡地利用は、住宅対策を含め公共施設の建設候補地として考えていきたい。

この場所は、明和地区の中心地であるので、地域活性化に寄与するよう進めていきたい。

問 まさに、明和地区の人たちの思いの

こもった場所なので、地域や集落の人たちの



佐藤孝義 議員

速やかに解体して、教員住宅やI・Uターンの若者たちのための住宅対策等に活用してほしい。

議員のつぶやき



現在の旧明和小学校体育館の状況

意見を良く聞いて進めてもらいたい。また、校庭部分や、教員住宅廻りの管理が悪いのではないかと話を聞く。管理委託等も考えてはどうか。

総務課長 振興センターで、行っているが、

不十分なところは、改善に努めて適正な管理を心がけていく。

教育長 状況は理解しているが、原則本人に管理させる方針だ。

陳情 請願

なっぺんたべや?

進展のあるものを取り上げています。
了済みであるか、まだ町当局の方で事業着手されていないものとなります。

町当局の対応経過

この橋は国道289号に架かる橋で、現在福島県において予算付けをして、実施設計計画を進めているとのこと
です。

平成26年度新たな民具収蔵展示施設建設の基本構想・基本設計を策定中ですので、近日中には町民の方々にも
お示しできるものと考えます。

町当局は、文化ホールのものは文化振興には非常に重要であることは認識している。現在、多くの事業に取り
組んでおりそちらを優先させていきたい。将来的にはそういった施設も必要だと思うが、新しく建設する考
えはない。町としては既存の施設を改修して利用していきたいと考えている。

平成26年度に用地の確保ができたので工事の入札を行いました。入札不調となったため、来年度再入札を
実施したい。

測量設計業務は実施済みなので、新年度工事を実施したい。

平成26年6月、基本構想の概要が策定されました。8月には振興センター建設検討委員会を開催し、基本構想
を説明しました。住民説明会を開催して住民の意見を聞いていきたい。

平成26年度予算で測量設計委託を実施予定でいる。

町は八十里越の古道・中道・新道はいずれも重要と考えているため、10年計画で森林管理署より貸付を受けて、
国指定の文化財に登録されるように動いている。

11月議会で出された陳情・請願

集会施設の用地基準見直し に関する陳情書

経済文教常任委員会

提出者

亀岡区長 齋藤隆二
熊倉区長 目黒道男
深沢区長 三瓶庄介

審議経過

今まで建設された他
の集会所との整合をど
うするか。また、高齢
化が進むなか、とくに
冬期間の雪対策や災害

時の避難場所を考える
と、駐車スペースなど
の必要性からも、現在
の敷地基準を見なおす
時期に来ているのでは
ないか、という意見も
あります。今後さらに
町当局と検討を進める
こととして、現在継続
して審議しています。



現在の亀岡公民館



②1 達者でやったがい? 11月30日、毎年行われている「ふるさと只見会」が、東京都麹町のホテルを会
場に開催されました。50名近くのご出席をいただきありがとうございました。今回は、ふるさと只見が
ユネスコエコパークに登録された年でもあり、登録の経過などが分かりやすく解説されました。

あの陳情なじよ

採択された主な陳情・請願の対応状況

採択済みの陳情案件のうち、現在何かしら事業のここに記載のない案件に関しては、すでに事業終

受付月日	提出者	内容
H22年8月16日	上福井区長 堀金太一	国道289号に架かる初瀬川の橋の拡幅
H23年6月15日	明和地区区長連絡協議会会長 馬場光男	国指定重要有形民俗文化財の民具収蔵施設の整備
H24年9月4日	只見町文化協会会長 飯塚恒夫	仮称「町民文化ホール」建設に関する要望書
H25年1月31日	黒谷区長 菅家達朗	町道整備（黒谷入地区）
H25年1月31日	黒谷区長 菅家達朗	町道改良整備（龍泉寺～沢口間）
H25年8月2日	只見地区、区長会・婦人会・運営委員会・老人会の各代表者4名	只見地区センター早期建設に関する要望書
H25年8月2日	亀岡区長 齋藤隆二	亀岡集会所建設
H25年12月12日	八十里踏破の会・八十里研究会の各代表者2名	八十里「古道・中道・新道」調査事業

文化ホール建設反対の陳情書

経済文教常任委員会

提出者

人口減社会を生きる只見町民の会代表 目黒道人、他16名

議会も、文化振興のため多目的施設の整備の必要性を認識していますが、財政上、新たな建設は難しいと考えられています。将来、既存の施設を改修し、文化

■審議経過

町当局では、新たな文化ホールのなものを建設する考えはなく、既存の施設を改修していきたいとの考えです。

振興に利用していくのが良いとの意見で審議しています。

只見振興センター建設反対の陳情書

総務厚生常任委員会

提出者

人口減社会を生きる只見町民の会代表 目黒道人、他16名

■審議経過

「今までの経過からしても計画通り建設を進めていく方針」との町長説明を聞き、委員会としては、町の将来を見据えた公共施設の全体計画に基づいた審議が必要と考え、継続審議としています。



取り壊された只見地区センター跡地

只見町のすてきな自慢



只見小学校 6年
小林 聖佳

只見町の自然、それは長年にわたって守られてきた大切な財産です。

2014年6月に、只見町の自然や文化などがユネスコエコパークに登録されました。とてもうれしいことです。でも、他に住んでいる人には、「ユネスコエコパーク。何がすごいのか?」と、その価値が分からないと思います。

これから私は、只見の自然を大切に見守りながら、多くの人に伝えることをしたいと思います。どこにも真似できないすてきな只見町を見守っていききたいと思います。

あいさつが交わされる只見



只見小学校 6年
佐藤 裕斗

ぼくの只見の好きなところは、だれでも、だれにでもあいさつをすることです。みんなちゃんと顔

を見て、しっかりとあいさつをしています。ぼくも、道路を歩いている地域の人に進んであいさつをします。只見小学校の児童も、ひとりひとりが毎日ちゃんと顔を見て、あいさつをしています。朝、学校に来て「おはようございます」と、はっきりと言うと1日のスタートが楽しいです。只見は、自然も豊かであいさつが交わされる気持ちのいい所です。

只見町って
なじよだや?

只見町の将来のために



只見中学校 3年
加藤 愛惟

只見町は、昨年6月にユネスコエコパークに登録されるという良いニュースがありました。

私は、このことをきっかけに只見町が抱える少子高齢化や過疎化などの問題を解決できるのではと思うのです。

観光地として只見をアピールすることで、観光客が増え、その機会に只見に住みたいと思う人がいるかもしれません。また、若い人が働ける場所も増えるでしょう。

良いところをさらに伸ばすことで、只見町は明るくなっていくのではないのでしょうか。

只見町の未来



只見中学校 3年
飯塚 健太郎

私は、この只見町は自然環境の保全と教育に力を入れている本当に良い町だと思います。その両方

が只見町の未来に大きく関わるものであり、大切なことだと思います。私は、この町の自然であったり、風景が好きです。私たちが大人になったあとも無くなってほしくないなと思います。また、教育面もこれからも力を入れてほしいと思います。そして、私たちもそれに応えられるよう精いっぱい学び、只見町を守りたいと思います。

編集後記

新しい年を迎え、昨年のことで恐縮ですが、議会報告会の新しい試みとして、町民の皆さんの意見や提案を聞く時間を多く設けました。町民の方からたくさんのご意見やご指摘、提案が出され、非常に良かったと感じています。議会は町民の皆さんともっと話したいし、聞きたいと考えています。そこで、今年ももっと気軽に話せる場を多く持ってみませんか。集落単位、各種団体、小さなグループでもOKです。今年もご協力、ご支援よろしく願います。

(小沼信孝委員)

発行責任者

議長 齋藤 邦夫

議会広報特別委員会

委員長 石橋 明日香

副委員長 小沼 信孝

委員 山岸 フミ子

委員 大塚 純一郎

目黒 仁也